

三環状道路と周辺道路の交通量変化

～道路交通センサス(平日12時間値)による～

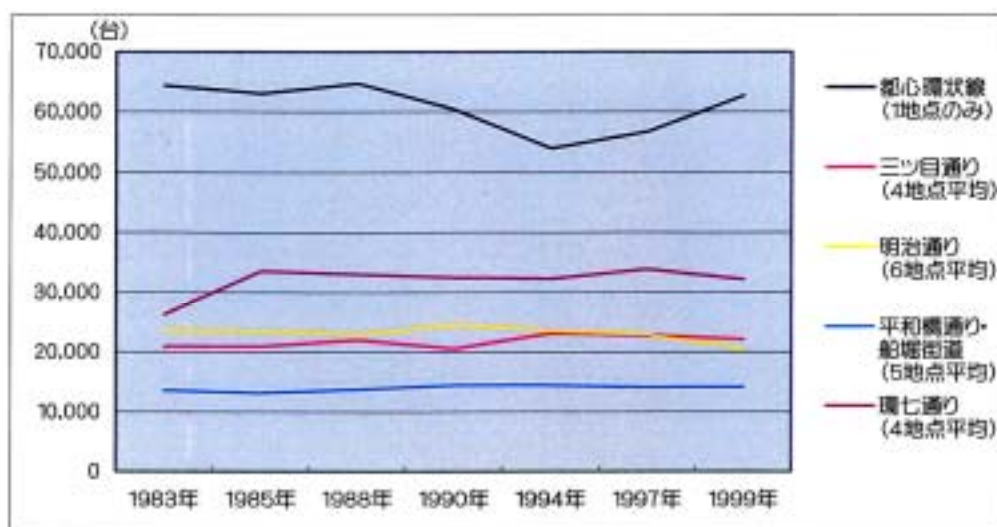
建設省(現国土交通省)の『道路交通センサス』から、三環状道路(中央環状線、外環道、圏央道)の既に通している区間と、その区間に相当する並行道路、ジャンクションやインターチェンジで接続する放射道路など、開通によって影響を与えそうな全ての路線・観測地点を抽出し、路線ごとに平均を求めて交通量の変化をみた。

- ※ 平均を出すため、観測していない年がある観測地点は除外した。
- ※ 各グラフ右側の凡例は、高速道路→一般道路、内側→外側、北→南、西→東の順に記載した。

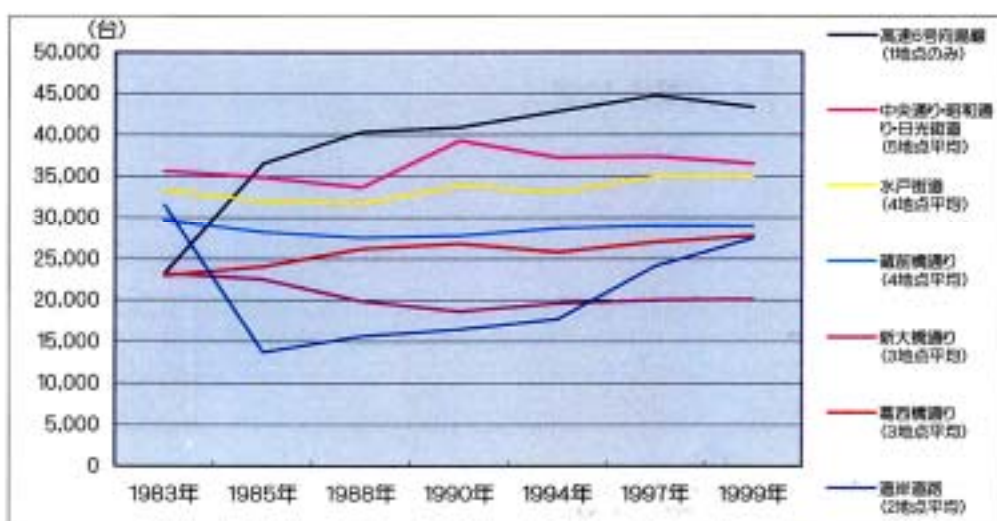
江崎美枝子

1. 中央環状線(江北～葛西JCTは1987年開通)

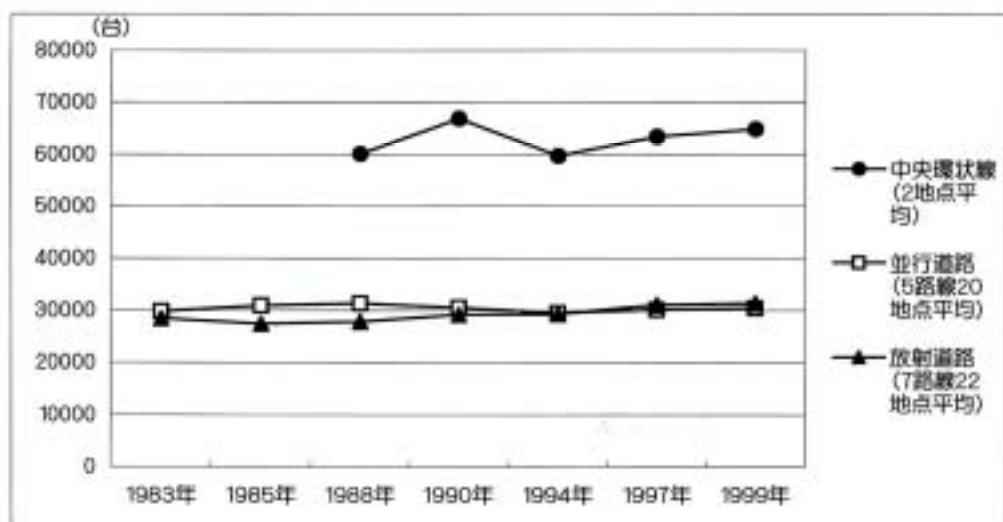
(1) 並行道路



(2) 放射道路

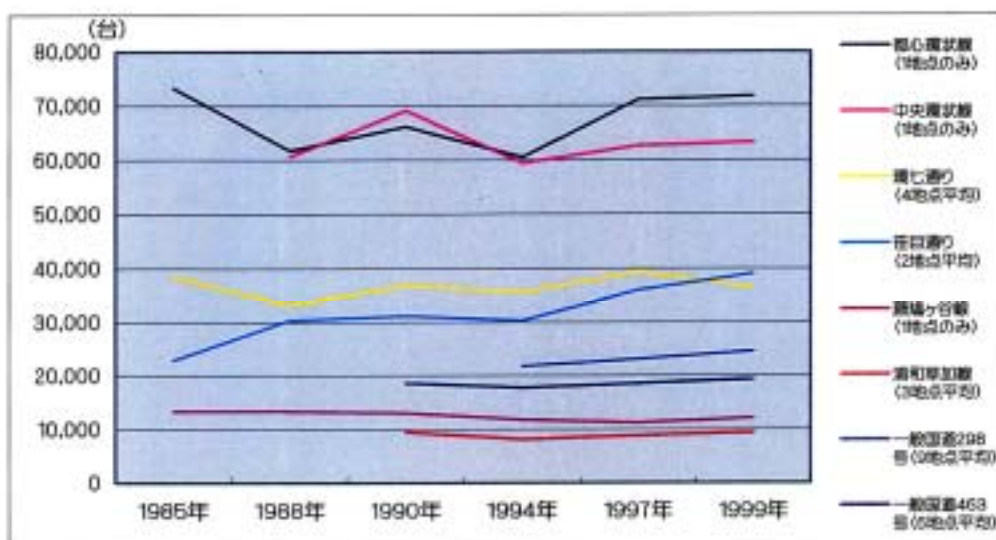


(3) 中央環状線および並行・放射道路平均

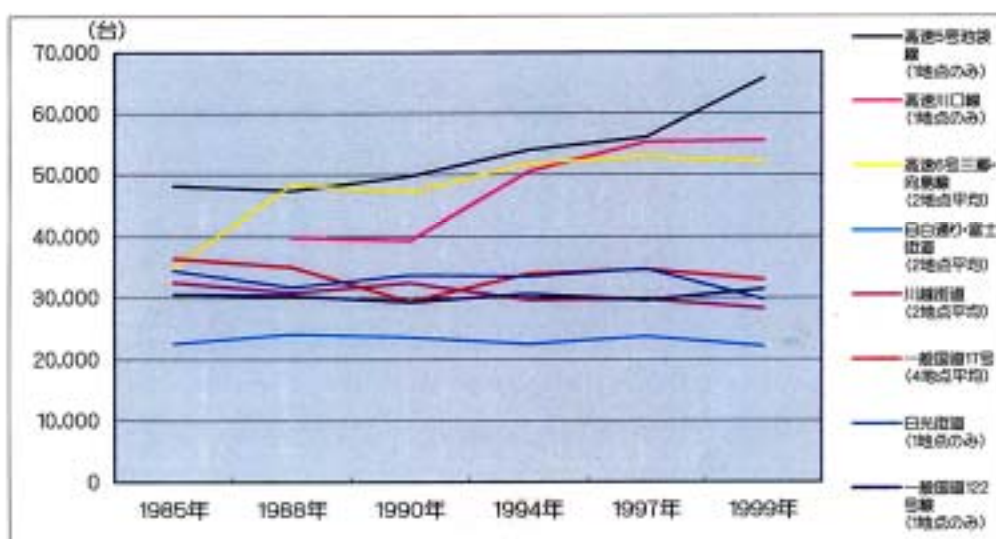


2. 東京外郭環状道路(和光IC~三郷JCTは1992年、大泉JCT~和光ICは1994年開通)

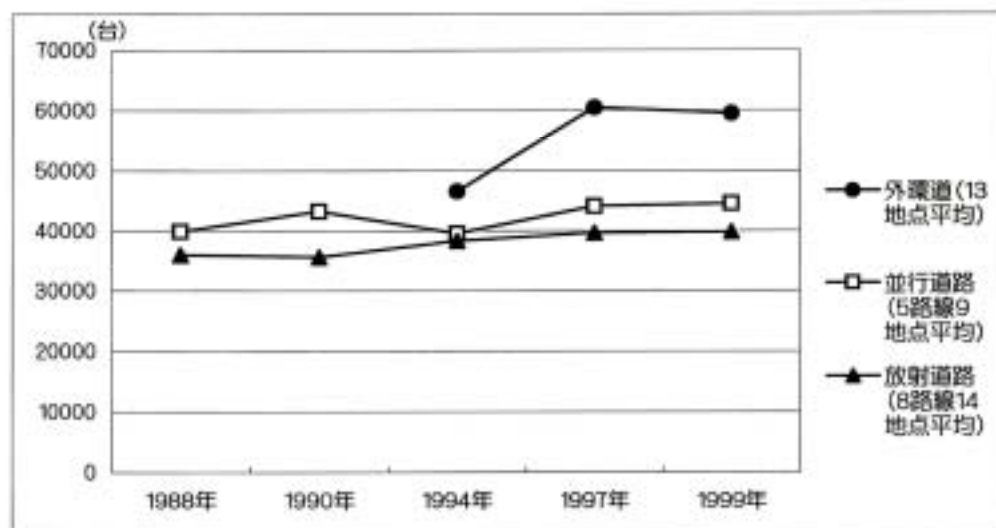
(1) 並行道路



(2) 放射道路

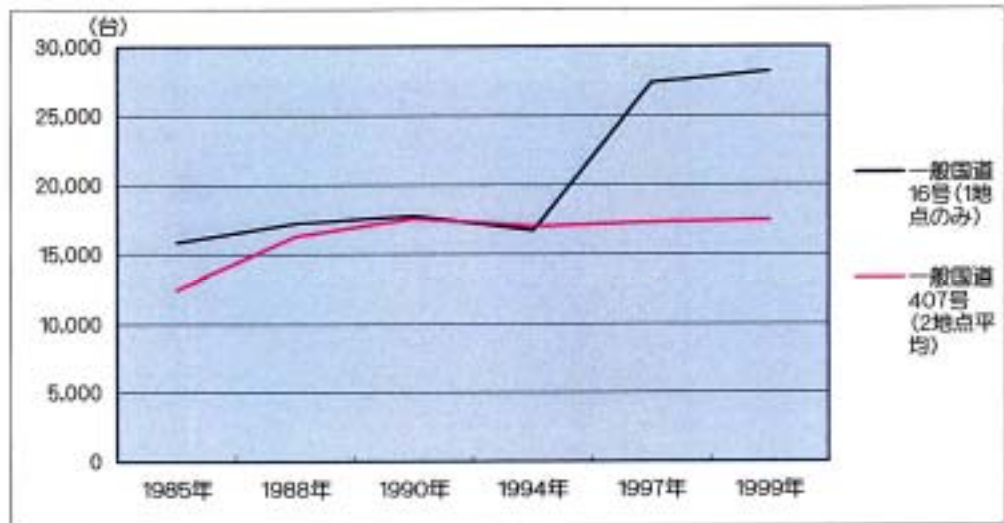


(3) 外環道および並行・放射道路平均(1988年以降の数字がある路線のみ)

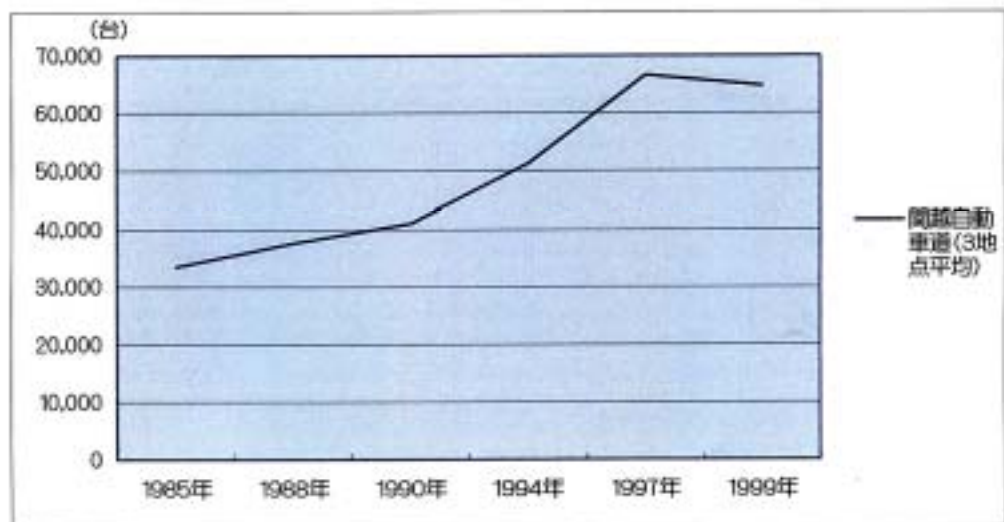


3. 首都圏中央連絡自動車道(青梅IC～鶴ヶ島JCTは1996年開通)

(1) 並行道路



(2) 放射道路



(3) 圏央道および並行・放射道路平均

